

医療機関名

担当医師名

提供：サンファーマ株式会社

2020年12月作成
IRI081PI0Z

イリノテカンの治療を受ける方へ

FOLFIRI療法のでびき

監修 北海道大学病院腫瘍センター診療教授
小松 嘉人 先生



もくじ

3 はじめに

4 イリノテカンによる大腸がんの治療

4 イリノテカンについて

5 FOLFIRI療法のスケジュール

8 FOLFIRI療法を受けるときの注意点

10 おもな副作用と対処法

18 高額療養費について

19 私の治療日記



はじめに

この冊子は、イリノテカン塩酸塩水和物(イリノテカン)による治療[FOLFIRI(フォルフィリ)療法]を受ける方に、治療のことをよく知っていただくため、薬の投与スケジュールや治療を受けるときの注意点、予想される副作用とその対策などについてまとめています。

FOLFIRI療法は、イリノテカンにフルオロウラシル(5-FU)とレボホリナート(L-LV)を組み合わせた治療法で、大腸がんに対する標準的化学療法のひとつです。抗がん剤による治療は、副作用が現れやすいため、患者さんご自身でからだの状態を管理することがとても大切です。副作用の現れ方には個人差がありますが、あらかじめ予想される副作用を知り、対策を立てておけば予防することもできます。また、副作用が現れても早く適切に対処することにより、症状が重くなるのを防ぐことができます。

治療を始める前に、ぜひこの冊子をお読みいただき、わからないことや、もっと詳しく知りたいことがあれば、担当の医師または看護師、薬剤師におたずねください。

イリノテカンについて

特徴

- イリノテカンは、「喜樹（キジユ）」という植物から抽出された成分を元に合成された抗がん剤です。
- 肺がん、子宮頸がん、卵巣がん、胃がん、大腸がん、乳がん、皮膚がん（有棘細胞がん）、悪性リンパ腫（非ホジキンリンパ腫）、小児悪性固形腫瘍、脾がんの効果認められています。

治療方法

- イリノテカンは点滴により投与します。
- イリノテカンを単独で使用する場合がありますが、多くの場合は別の薬と組み合わせて投与します。
- 大腸がんに対する治療では、イリノテカンは別の薬と組み合わせて、FOLFIRI療法などの治療法に使われています。
- FOLFIRI療法では通常2週間の間隔をあけて、繰り返し投与します。
- 更に、FOLFIRI療法に分子標的治療薬を組み合わせる治療も行われています。

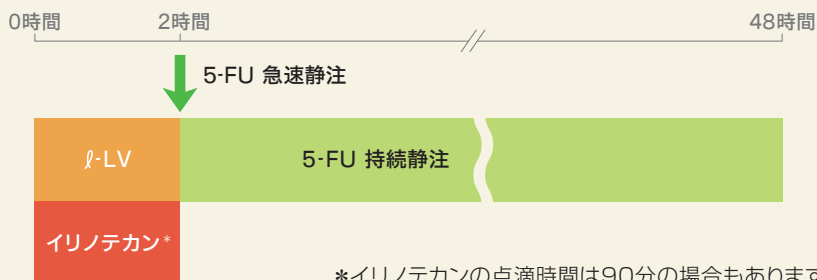
*詳しい治療方法については、担当の医師におたずねください。

FOLFIRI療法のスケジュール

FOLFIRI療法

FOLFIRI療法はイリノテカン、フルオロウラシル (5-FU)、レボホリナート (ℓ-LV) を組み合わせた治療法で、大腸がんの標準的治療として広く行われています。

治療スケジュール



治療スケジュールの例

吐き気止めの薬を約30分間かけて点滴

イリノテカンとℓ-LVを同時に約2時間かけて点滴

5-FUの急速静注 (約3分間)

携帯型ポンプを使った46時間の5-FU持続点滴

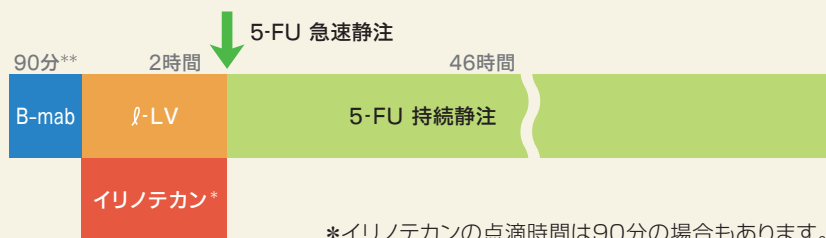
通常はこの2日間の治療を2週間ごとに繰り返しますが、実際には患者さんの状態や副作用などによって、投与と間隔をあけるなどの変更が行われることがあります。

分子標的薬を組み合わせたFOLFIRI療法

患者さんの状態に合わせて、従来のFOLFIRI療法に分子標的薬も組み合わせる場合があります。

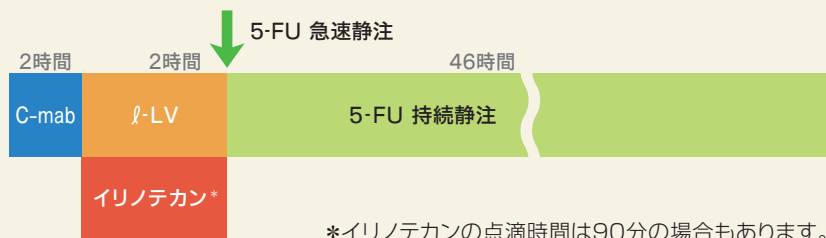
治療スケジュール (それぞれ吐き気止めの薬のあとのスケジュール)

(例1) ベバシズマブ (Bevacizumab : B-mab) との併用の場合



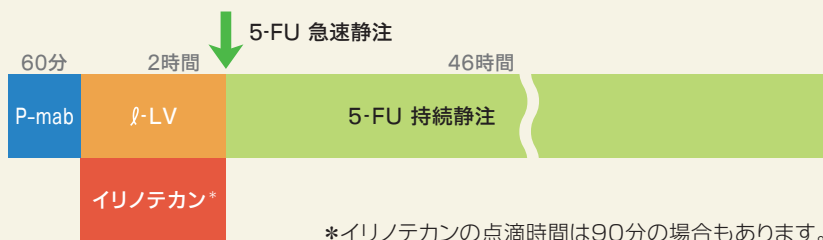
*イリノテカンの点滴時間は90分の場合もあります。
**2回目以降、副作用に問題がなければ投与時間が短縮されることもあります。

(例2) セツキシマブ (Cetuximab : C-mab) との併用の場合



*イリノテカンの点滴時間は90分の場合もあります。

(例3) パニツムマブ (Panitumumab : P-mab) との併用の場合



これらの治療は、いずれも通常は2週間ごとに繰り返しますが、セツキシマブについては、FOLFIRI療法を行わない週にも単独で投与されることがあります。また、患者さんの状態や副作用などによって、投与間隔をあけるなどの変更が行われることもあります。

詳しくは担当の医師にお尋ねください。

FOLFIRI療法を受けるときの注意点

治療を受ける前の注意

- 治療に際しては規則正しい食事や、十分な睡眠をとり、体調が良い状態であるよう心がけてください。
- 普段に比べ排便回数が増えている場合や、下痢、腹痛がある場合は、担当の医師にお伝えください。
- 他の科や他の病院で処方されている薬がある場合は、担当の医師や看護師、薬剤師にお伝えください。
- 薬局・薬店で買った薬、サプリメント、健康食品を使用している場合や民間療法を受けている場合も、担当の医師や看護師、薬剤師にお伝えください。
- グレープフルーツジュースやセイヨウオトギリソウ (St. John's Wort; セント・ジョーンズ・ワート) 含有食品の摂取はさけてください。

グレープフルーツジュース

イリノテカンの副作用が強まるおそれがあります。

セイヨウオトギリソウ (St. John's Wort; セント・ジョーンズ・ワート) 含有食品

イリノテカンの作用が弱まるおそれがあります。

お茶やサプリメントには、セイヨウオトギリソウを含有するものもあります。

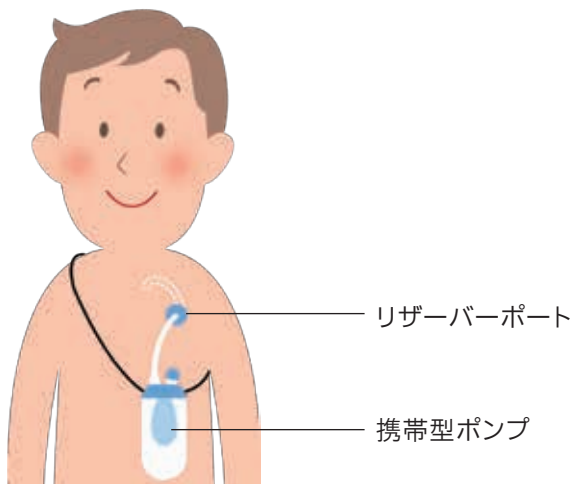
点滴注射を受けるときの注意

- 点滴の途中で違和感などを感じたときは、がまんしないで担当の医師や看護師、薬剤師にお伝えください。
- FOLFIRI療法の治療中に、他の科や他の病院を受診する場合は、事前に担当の医師に相談してください。
- 持続点滴時の携帯型ポンプ、リザーバーポート周囲の異常を感じた場合も、すぐに医療機関に連絡してください。



このような症状が現れたら、医師または看護師に連絡を！

注射部位の痛みや腫れ、熱感やかゆみ、吐き気など



おもな副作用と対処法

FOLFIRI療法では、骨髄系の症状や消化器系の症状などが現れることがあります。副作用によっては、必要に応じて予防したり、軽減する対策がとられます。また、副作用が現れた場合は、症状の程度によって薬の量を減らしたり、症状が回復するまで投与を延期（休薬）したりすることがあります。

骨髄抑制

血液の成分である白血球、赤血球、血小板などは骨髄でつくられています。抗がん剤により、骨髄が影響を受け、白血球減少、赤血球減少（貧血）、血小板減少などが起こります。

▶ 白血球減少（抵抗力の低下）

白血球が少なくなると、からだの抵抗力が弱まり、かぜや肺炎などの感染症にかかりやすくなります。

多くの場合、点滴投与の1～2週間後に現れやすく、その後1週間程度で回復します。



このような症状が現れたら、医師または看護師に連絡を！

38℃以上の発熱、さむけ、せき、のどの痛み、頭痛、だるさ、リンパ腺のはれ、排尿時の痛みなど



気をつけること

- 感染予防のために、外出の際は人ごみをさけ、マスクや手袋をしましょう。
- 手洗い、うがいをこまめに行いましょう。

▶ 赤血球減少（貧血）

赤血球が少なくなると、貧血症状を感じる場合があります。



このような症状が現れたら、医師または看護師に連絡を！

めまい、立ちくらみ、動悸・息切れ、疲労・倦怠感、頭が重いなど



気をつけること

- ・無理をせず、十分な休息と睡眠をとりましょう。
- ・たんぱく質を多く含む食事をバランスよくとり、栄養状態を良好に保ちましょう。

▶ 血小板減少

血小板が少なくなると出血しやすく、また出血が止まりにくくなります。



このような症状が現れたら、医師または看護師に連絡を！

少しのことで出血したり、出血が止まりにくくなる
鼻血が出たり、内出血（皮下にあざができる）ができる



気をつけること

- ・けがや転倒、打撲に気をつけましょう。
- ・激しい動作やスポーツはさけましょう。



消化器症状

▶ 下痢

FOLFIRI療法では、下痢の症状が強く現れることがあるので注意が必要です。下痢には、薬を投与してから24時間以内の早期に現れるものと、数日～2週間後に遅れて現れるものがあります。



このような症状が現れたら、医師または看護師に連絡を！

1日の排便回数がふだんよりも4回以上増加、
周期的な腹痛、水様便など



気をつけること

- 軽い下痢でも脱水にならないように、水分（スポーツ飲料など）をこまめにとりましょう。
- 下痢のときは、食物繊維や脂肪分の多い食べ物、コーヒーなどカフェインの多い飲み物はさけましょう。
- 乳酸菌食品（乳酸菌飲料やヨーグルト）などは下痢を悪化させることがあるのでさけましょう。
- おなかや下半身を温かくして、安静にすごしましょう。
- トイレのあとは肛門周囲を洗浄し、清潔を保ちましょう。
- 事前に下痢止めを処方してもらい、使い方を主治医とよく相談しておくとういでしょう。

▶ 吐き気・嘔吐、食欲不振

吐き気や嘔吐、食欲不振などの症状が高い頻度で現れます。吐き気や嘔吐の症状を和らげる薬があります。



このような症状が現れたら、医師または看護師に連絡を！

症状が長く続き、食事や水分がほとんどとれないとき



気をつけること

- 治療を受ける日は食事の量を少なめにしましょう。
- 体をしめつける衣服はさけましょう。
- 吐き気で食欲がないときは、食べられるものを少しずつ食べましょう。
- 脱水を起こさないよう、水分をとりましょう。
- 事前に吐き気止めを処方してもらい、吐き気時の内服の仕方をよく相談しておくとい良いでしょう。

その他の症状

▶ 脱毛

髪の毛や、からだの毛が抜けることがあります。治療が終われば3~6カ月後には再び生えてきます。

▶ 発熱・疲労感

治療の後に、38℃くらいの発熱やだるさ、疲れやすさを感じることがありますが、これは抗がん剤治療で多くみられる副作用で、たいていはすぐによくなります。(P.10「骨髄抑制」の項目にも留意しましょう。)

▶ 口内炎

治療を行った2~10日後に現れることがあります。



このような症状が現れたら、医師または看護師に連絡を!

口の中が痛い、ヒリヒリする、乾燥する、しみる、味がおかしい、飲みこみにくいなど



気をつけること

- うがいなどで、日頃から口腔内を清潔にしておくことを心がけましょう。

▶ 手足症候群、色素沈着

治療を行った1週間後くらいから、以下のような症状がみられることがあります。色素沈着は手足の皮膚や爪、および全身の皮膚などにみられます。



このような症状が現れたら、医師または看護師に連絡を!

手のひらや足の裏に刺すような痛み、手足の感覚麻痺、はれ、皮膚が赤くなる、皮膚の乾燥やかゆみ、変色など



気をつけること

- 色素沈着は日光に当たると強まる傾向があるので、直射日光を避け、日焼け止めクリームを塗りましょう。
- 石鹸は刺激の少ないものを使いましょう。
- 入浴後は保湿クリームなどを塗って皮膚の乾燥を防ぎましょう。

その他の注意すべき副作用

起こることはまれですが、次のような副作用が報告されています。症状に気づいたらすぐに担当の医師、看護師または薬剤師に連絡してください。

▶ 間質性肺炎

肺の間質という部分に炎症が起こり、肺の機能が低下する「間質性肺炎」が起こることがあります。



このような症状が現れたら、医師または看護師に連絡を！

空せき、息ぎれ、発熱、胸苦しさなど

▶ ちようかんせんこう腸管穿孔、消化管出血、腸管麻痺、腸閉塞

腸に穴があいたり、消化管から出血して血の混ざった便が出たり、腸閉塞（腸の一部が詰まって、便やガスが出なくなる状態）になることがあります。



このような症状が現れたら、医師または看護師に連絡を！

強い腹痛、下血、血便など



分子標的薬を併用する場合の副作用

分子標的薬を併用する治療法では、分子標的薬による副作用も想定されます。

現れる症状は併用するお薬によって異なりますが、代表的な症状としては次のとおりです。

各併用薬剤における副作用症状の程度や、気を付けることなどについては、治療前だけでなく治療中も、担当の医師または薬剤師にお尋ねください。

わからないことや、
気になることがありましたら
ご相談ください。





このような症状が現れたら、医師または看護師に連絡を!

▶ **高血圧**

▶ **ネフローゼ症候群 (タンパク尿)**

▶ **傷口が治りにくい (創傷治癒遅延)**

▶ **粘膜からの出血**

鼻血、歯ぐきなどからの出血

▶ **血栓塞栓症**

胸の痛み、息切れ、激しい頭痛、手足のむくみ、突然の片側の手足の麻痺、顔面の脱力、会話がしにくい、ろれつが回らないなど

▶ **心臓の機能の低下**

動悸、息切れ、咳き込み、疲れやすさ、手足の冷えなど

▶ **皮膚の障害**

皮膚の乾燥・ひび割れ、発疹、ざ瘡 (ニキビ) 様皮疹、爪の障害など

この他にも気になる症状がありましたら、担当の医師または看護師にご相談ください。

高額療養費について

病気やケガなどで治療にかかる医療費が高額になり、同一月（1日～末日）の医療費が一定額（自己負担限度額）を超えた場合は、「高額療養費制度」による医療費助成制度が受けられます。

詳しくは病院の相談窓口か、健康保険証に記載されている保険者にお問い合わせください。



私の治療日記

副作用や気になる症状が現れたら、治療日記に記入しておきましょう。安心して治療を続けるための大切な情報となります。診察日には持参し、担当の医師や看護師、薬剤師にみせましょう。

記入例

月日		9月5日	9月6日	9月7日	9月8日	9月9日
次回の受診予定日			○			
体温		36.2	36.5	36.4	37.2	36.8
血圧	最大	131	134	128	130	132
	最小	92	98	95	94	96
食事量		○	△	△	△	
息苦しい・胸の痛み					○	
消化器の 症状	吐き気			○	○	○
	排便回数	2	1	1	1	1
	便の状態	○	○	△	△	
	腹痛			○	○	
頭痛					○	
メモ (気になること、医師に 伝えたいことなど)					熱がでた	

吐き気があったら
○をつけましょう

○: 固形便
△: 軟便
×: 水様便

食事量: ◎通常 ○やや少ない △少ない ×食べられない
 便の状態: ○固形便 △軟便 ×水様便

からだに違和感があるときは、日付と症状をメモして、担当の医師や看護師、薬剤師と相談しましょう。

月日		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
次回の受診予定日							
体温							
血圧	最大						
	最小						
食事量							
息苦しい・胸の痛み							
消化器の 症状	吐き気						
	排便回数						
	便の状態						
	腹痛						
頭痛							
メモ (気になること、医師に 伝えたいことなど)							

食 事 量：◎通常 ○やや少ない △少ない ×食べられない

便の状態：○固形便 △軟便 ×水様便

月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日

*診察日には持参し、担当の医師や看護師、薬剤師に見せましょう。

からだに違和感があるときは、日付と症状をメモして、担当の医師や看護師、薬剤師と相談しましょう。

月日		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
次回の受診予定日							
体温							
血圧	最大						
	最小						
食事量							
息苦しい・胸の痛み							
消化器の 症状	吐き気						
	排便回数						
	便の状態						
	腹痛						
頭痛							
メモ (気になること、医師に 伝えたいことなど)							

食 事 量：◎通常 ○やや少ない △少ない ×食べられない

便の状態：○固形便 △軟便 ×水様便

月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日

*診察日には持参し、担当の医師や看護師、薬剤師に見せましょう。

からだに違和感があるときは、日付と症状をメモして、担当の医師や看護師、薬剤師と相談しましょう。

月日		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
次回の受診予定日							
体温							
血圧	最大						
	最小						
食事量							
息苦しい・胸の痛み							
消化器の 症状	吐き気						
	排便回数						
	便の状態						
	腹痛						
頭痛							
メモ (気になること、医師に 伝えたいことなど)							

食 事 量：◎通常 ○やや少ない △少ない ×食べられない

便の状態：○固形便 △軟便 ×水様便

月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日

*診察日には持参し、担当の医師や看護師、薬剤師に見せましょう。

からだに違和感があるときは、日付と症状をメモして、担当の医師や看護師、薬剤師と相談しましょう。

月日		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
次回の受診予定日							
体温							
血圧	最大						
	最小						
食事量							
息苦しい・胸の痛み							
消化器の 症状	吐き気						
	排便回数						
	便の状態						
	腹痛						
頭痛							
メモ (気になること、医師に 伝えたいことなど)							

食 事 量：◎通常 ○やや少ない △少ない ×食べられない

便の状態：○固形便 △軟便 ×水様便

月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日

*診察日には持参し、担当の医師や看護師、薬剤師に見せましょう。

からだに違和感があるときは、日付と症状をメモして、担当の医師や看護師、薬剤師と相談しましょう。

月日		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
次回の受診予定日							
体温							
血圧	最大						
	最小						
食事量							
息苦しい・胸の痛み							
消化器の 症状	吐き気						
	排便回数						
	便の状態						
	腹痛						
頭痛							
メモ (気になること、医師に 伝えたいことなど)							

食 事 量：◎通常 ○やや少ない △少ない ×食べられない

便の状態：○固形便 △軟便 ×水様便

月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日

*診察日には持参し、担当の医師や看護師、薬剤師に見せましょう。

からだに違和感があるときは、日付と症状をメモして、担当の医師や看護師、薬剤師と相談しましょう。

月日		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
次回の受診予定日							
体温							
血圧	最大						
	最小						
食事量							
息苦しい・胸の痛み							
消化器の 症状	吐き気						
	排便回数						
	便の状態						
	腹痛						
頭痛							
メモ (気になること、医師に 伝えたいことなど)							

食 事 量：◎通常 ○やや少ない △少ない ×食べられない

便の状態：○固形便 △軟便 ×水様便

月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日

*診察日には持参し、担当の医師や看護師、薬剤師に見せましょう。